

## タンカーの船首部バラストシステム及び船首部区画に関する改正の解説

### 1. はじめに

2025 年 12 月付一部改正により改正されているタンカーの船首部バラストシステム及び船首部区画に関する改正について、その内容を解説する。本改正に伴い、鋼船規則 H 編，R 編及び鋼船規則検査要領 D 編，H 編，S 編，R 編が改正されている。なお，本改正は，2026 年 1 月 1 日以降に建造契約が行われる船舶に適用されている。

ただし，船舶の所有者から申込みがあれば，この改正による規定を 2026 年 1 月 1 日前に建造契約が行われた船舶に適用することができる。

### 2. 改正の背景

タンカーの船首部安全バラストタンクと貨物エリア内の危険バラストタンクを同じバラストシステムを用いて操作する際の要件を定めた IACS 統一規則(UR) F44 が，貨物エリアの保護要件の解釈を定めた IACS 統一解釈(UI) SC211 がそれぞれ発行されており，本会はこれを既に本会規則に取入れている。

2017 年にバラスト水管理条約が発効し，バラスト水処理装置の設置が義務付けられたことから，ケミカルタンカーの船首部安全バラストタンクと危険バラストタンクについても同じバラストシステムで操作する需要が高まったことを受け，UR F44 をケミカルタンカーにも適用できることを明確化するとともに，ケミカルタンカーに対する要件を規定のうえ UR F44 が改正された。また，UR F44 の改正に伴い，油タンカー及びケミカルタンカーの船首部区画の配置要件に関する解釈を明確化するため UI SC211 が改正された。

これに基づき，関連規定を改めた。

### 3. 改正の内容

主な改正点は以下のとおりである。

#### (1) UR F44 に基づく改正点

鋼船規則検査要領 D 編等において，油タンカー及びケミカルタンカーの船首部安全バラストタンクと危険バラストタンクのバラスト管を連結する際の要件を以下の通り改めた。

- (a) 貨物タンクに隣接する船首部バラストタンク（以下「FPT」）を 1 種危険場所，貨物タンクからコファダムにより隔離された FPT を 2 種危険場所に分類した
- (b) 隔離された FPT の空気管の開口端は暴露甲板上に設けることを要求
- (c) 毒性及び可燃性ガス濃度の計測手段を要求（可燃性ガス濃度については改正前より要求）
- (d) FPT の測深管は暴露甲板上に導くこと（改正前より要求）
- (e) 暴露甲板から FPT を直接換気できる手段を設けることを要求
- (f) コファダム等の閉囲区画（エントリースペース）を経由して FPT へ出入りする場合；
  - i) FPT の出入り口に対する注意銘板付きガス密マンホールの設置を要求
  - ii) ボースンストアからエントリースペースに出入りする場合，エントリースペースの暴露甲板からの直接換気手段及び出入り口に対する注意銘板付きガス密マンホールの設置を要求
  - iii) エントリースペースが貨物タンクに隣接する場合，危険場所に係る関連要件に加え，FPT が貨物タンクに隣接する場合と同様の要件を適用
- (g) バウスラスト室の保護を目的として，バウスラスト室内のバラスト管装置はフランジ継手等がない溶接構造とすること及び隔壁弁は船首部バラストタンク内の船首隔壁の前側に取付けることを規定
- (h) 船首部の配置ケースごとに，上記要件の内適用される要件が明確になるよう図示した（下記図 1 から図 6 を参照）

図 1

(サンプル1) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

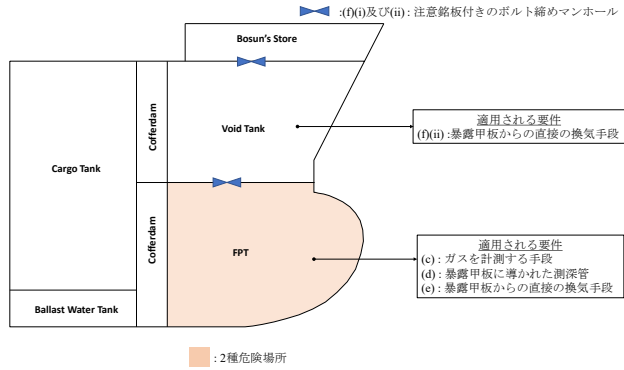


図 2

(サンプル2) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

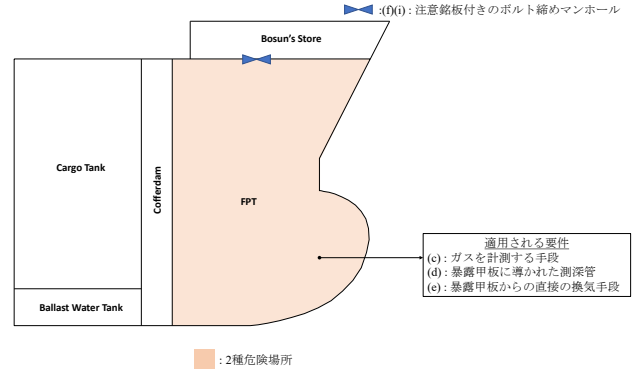


図 3

(サンプル3) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

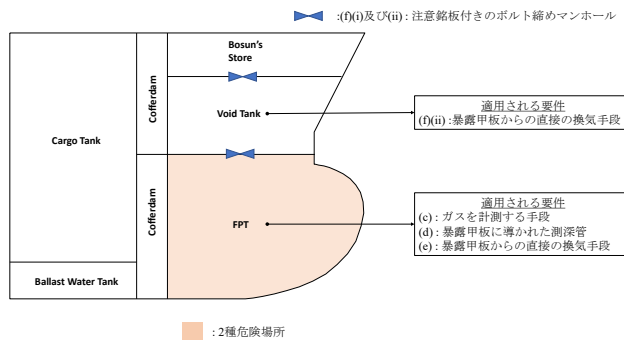


図 4

(サンプル4) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

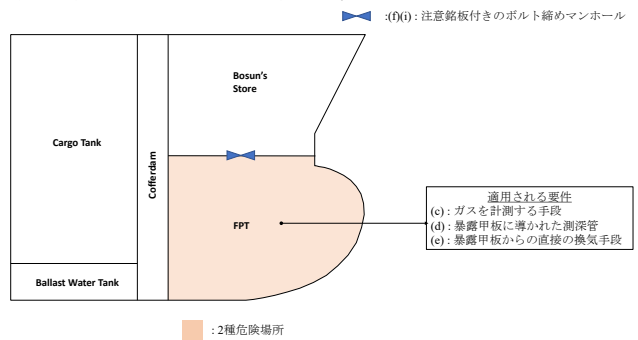


図 5

(サンプル5) 油タンカーのみに認められる。

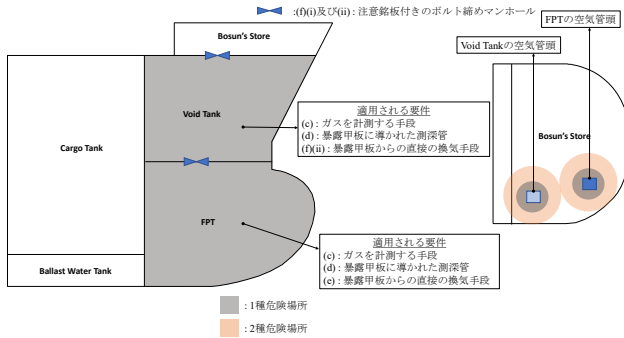
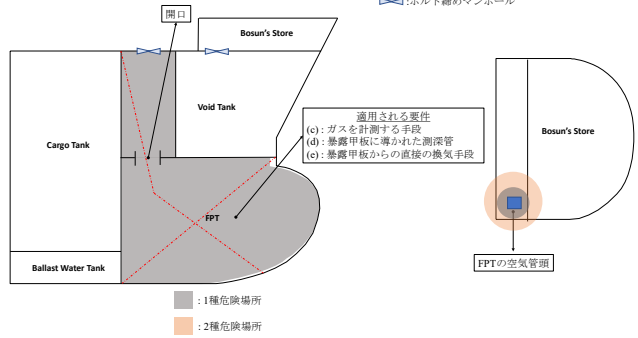


図 6

(サンプル6) 油タンカーのみに認められる。



## (2) UI SC211 に基づく改正点

鋼船規則検査要領 S 編及び R 編において、油タンカー及びケミカルタンカーの船首部区画の配置要件として「貨物エリア」には、貨物タンクからコファダム等で保護される船首楼内の非危険場所は含まれない点を図示（下記図 7 から図 12 参照）とともに規定した。これに従い、図 7 から図 10 は油タンカー及びケミカルタンカーに認められる配置であり、図 11 及び図 12 は油タンカーのみに認められる配置であることを明確にした。

図 7

(サンプル1) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

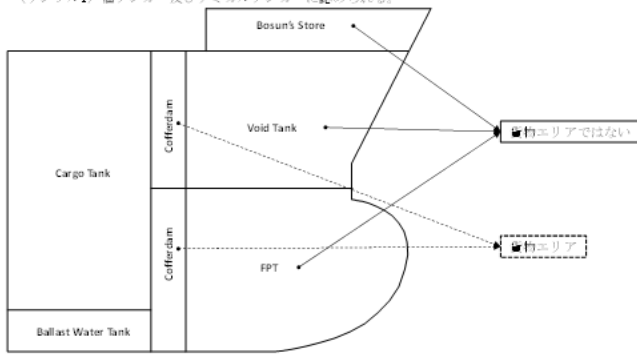


図 8

(サンプル2) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

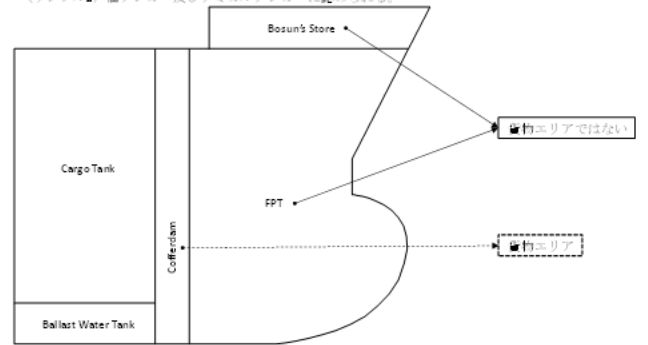


図 9

(サンプル3) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

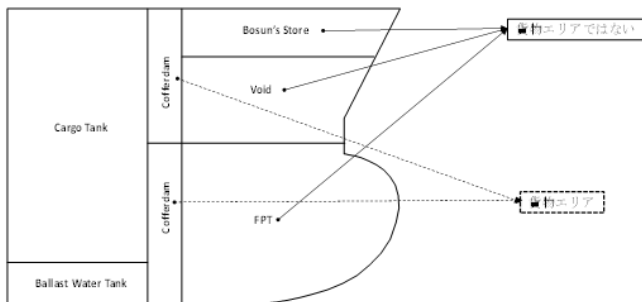


図 10

(サンプル4) 油タンカー及びケミカルタンカーに認められる。

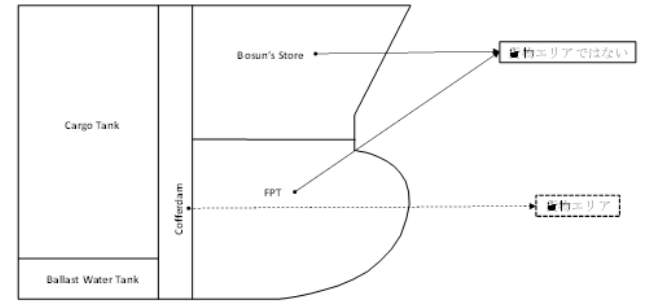


図 11

(サンプル5) 油タンカーのみに認められる。

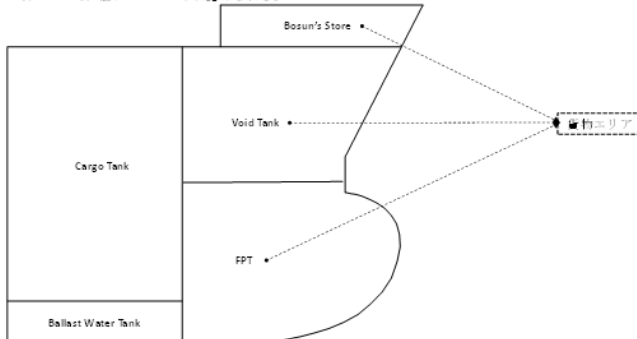


図 12

(サンプル6) 油タンカーのみに認められる。

